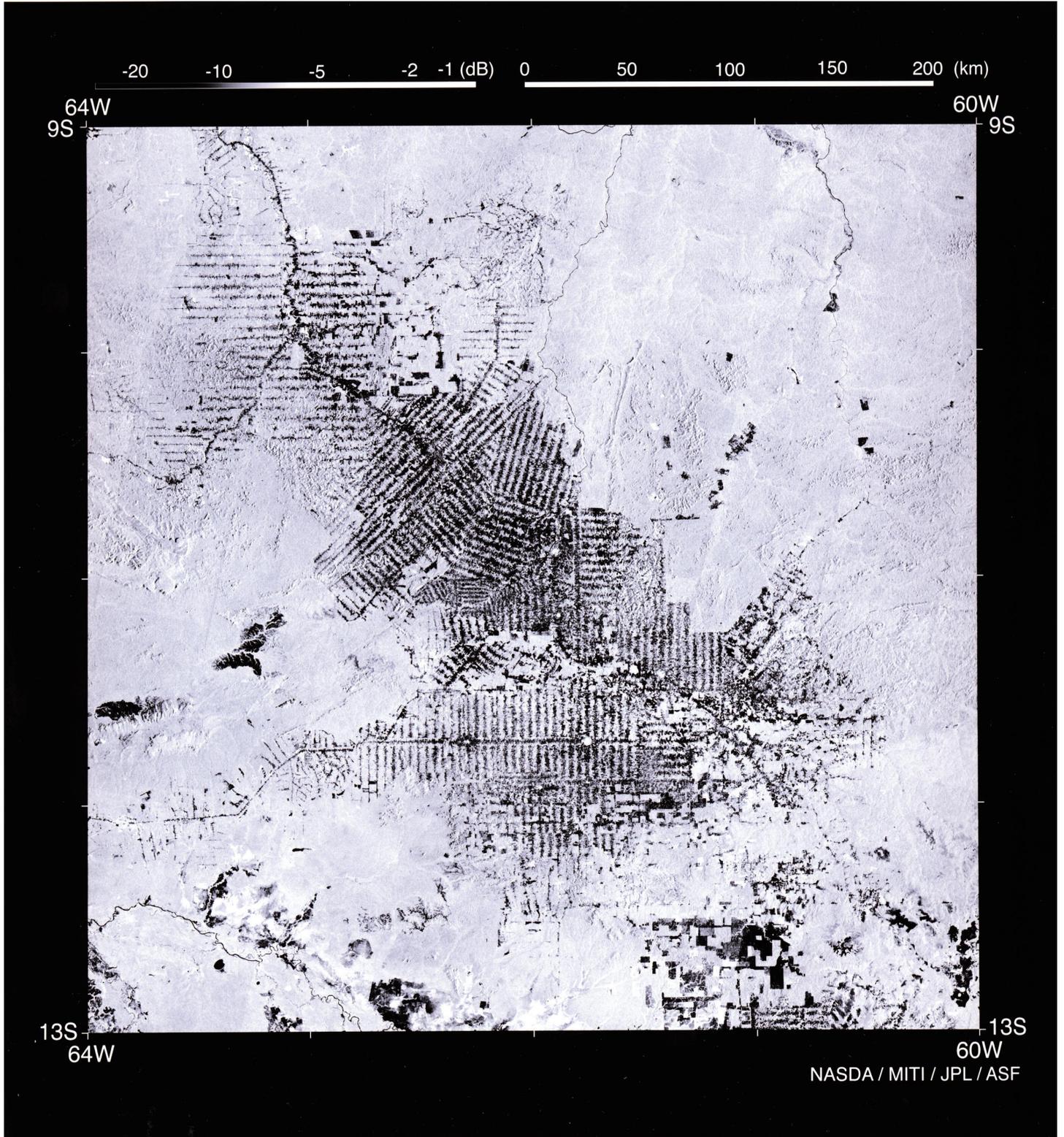


ロンドンアモザイク画像



ロンドニアモザイク画像

写真は南アメリカ、アマゾンの南緯9度から13度、西経60度から64度の範囲のJERS-1 SAR モザイク画像です。この地域はブラジルのロンドニア州で、大規模な伐採が行われている地域として知られています。画像中央に見られる黒い筋状の領域がロンドニアでの伐採域で、魚の骨のように見えることから「フィッシュ・ボーン」型伐採と呼ばれています。これは、ハイウェイなどの道の両側に個人規模で切り開いた農耕地が多数集まって出来たものです。伐採域は牧場として使われることが多く、牛等の家畜が放牧されています。土地が痩せて牧草の生育が悪くなると、新たに矩形形状の伐採が行われるといったことが繰り返されています。JERS-1 SARモザイク画像を用いて伐採を見積もった結果、1993年の段階で九州の面積に相当する約39,600 km²となりました。一方、ブラジル国立宇宙研究所の調査結果によれば、1992年、1994年の伐採面積はそれぞれ、36,865 km²、42,055 km²であり、JERS-1 SARによる伐採域評価の可能性が示されました。

